



ロシア バリトン歌手・ヴィタリ公演決定！！…そこに至る歩み

春の躍動を伝える 声楽の響き
オペラ・歌謡界に輝く新星

ヴィタリ
魅惑のバリトン
Recital in 酒々井
Yusmanov
2017.3.26 (日)

■13時開演 14時閉演
■プリミエール酒々井文化ホール

■前売券2,000円(当日券2,500円) ※中学生以上のみ

「世界を舞台に活躍する演奏家の演奏を酒々井町の住民に届けよう」を合言葉に始めた私たちNPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会の住民交流事業も今回で4回目を迎えることとなりました。

今年は何の分野の演奏家に来て貰えたらよいか、その分野で世界を舞台に活躍する演奏家に巡り合うにはどうすればよいか、巡り合えたとしても知名度の低い酒々井町の小さな舞台に立って貰うにはどんな方法があるか、毎回メンバーが知恵を出し合って取り組んできました。

前回、ロンドンアンサンブルの演奏会の時のアンケートに次回はオペラの歌唱を聴きたいというリクエストがあったのをヒントに、歌唱の分野で活躍している演奏家を探そうと言う考えが強まっておりました。

今回のヴィタリさんとのご縁はメンバーの一人が学校の同窓会の席で私たちの活動を披露して協力を求めたことから話が始まりました。

同窓会に出席していたSさんが帰宅して音楽通の奥さんにこの話をしたところ、今、歌唱界で国際的にも評価を高めていて日本でも公演を重ねている若いロシア人バリトン歌手ヴィタリさんに声をかけてみてはどうかとの薦めがあり、早速このことがメンバーのもとに伝えられました。貴重な情報でしたが音楽通ではない私たちにとってはヴィタリさんのことなど知る由もありません。私たちの誇る行動力が役に立つ場面です。

公演の予定を調べて都合のつくメンバーで東京公演を聴きに行くことになりました。会場は満席の盛況、迫力あるバリトンの心に響く歌声と歌曲の魅力に聴きに行ったメンバー全員がすっかり感動、異論なくダメもとで出演をお願いして見ようということになりました。Sさんの奥さんの計らいでヴィタリさんの来日公演のスポンサーを務めて居られるFさんを紹介して頂き、Fさんの力強いご協力でヴィタリさんとの出演契約を何とか無事まとめることが出来ました。

このような経緯を辿って今回も私たちにとっては高嶺の花とも言える公演が地元酒々井町で実現することとなりました。私たちの町に更なる輝きをもたらす世界的バリトン歌手ヴィタリさんの声楽の響きを皆さんと共に堪能できることを願っております。

輝く創年へのきっかけに…

10月23日、「第4回輝く創年とコミュニティ・フォーラム」が中央公民館で開催された。午前の部では、「人と人を結びつける地域活動の実践」をテーマに4つの分科会に分かれ、それぞれ酒々井町における活動と他の市町村での活動状況の報告および質疑が行われました。どの分科会も参加者が多く、用意された座席が不足したところもあったようでした。プリミエールでの午後の部は、酒々井中学校プラスバンドによるオープニング演奏でスタート。基調鼎談は福留強先生、俳優で酒々井ふるさと大使の三ツ木清隆氏、俳優の山本學氏3人の方のお話がとても楽しく、また、シンポジウムも各パネラーの方によるそれぞれの立場、それぞれの個性での発表をコーディネーターの方がスムーズに進行され、どちらも時間が短く感じられるステージでした。



第2分科会：駅文庫のある町の発表

活動団体・力の結集 酒の町から生まれた祭り『酒々井新酒祭』 盛大に開催！！

酒々井 千葉氏まつり・・・伝説の祭りのよみがえり

酒々井すいすい倶楽部は、昨年 11 月 20 日(日)に、第 11 回「酒々井新酒祭」を開催致しました。

ご協力、ご来場くださいました皆様、盛況の内に無事開催できました事を心から感謝申し上げます。「酒々井新酒祭」は、酒々井町らしい祭りを行い、町の魅力を共有し郷土愛を深めたいとの思いで 2006 年(H18)から始まりました。

●「酒」が二つ付く町名
●「酒の井伝説」が語り継がれ、「酒の井の碑」が残る土地
●300 年以上の歴史を誇る日本酒の蔵元「飯沼本家」の存在など、酒々井町は「酒」に深い縁があることから、「酒」を冠する祭りとし、毎年お酒をはじめ町名由来となる「水」や町の農産物等、酒々井の魅力を集めて「ふるさと酒々井」を皆様と一緒に楽しもうと、メンバーが額を寄せ合い、賑やかに打ち合わせを重ね、大勢の方々のご協力を得て、おかげさまで祭りは年々賑わいを増して参りました。現在では 3000 人を越える来場者が、酒々井の豊かな自然を感じられる会場で搾りたての日本酒や地元の味等を、様々な演奏・演出と共に楽しむ祭りとなっています。

11 年目となった昨年は、更なる向上を目指し次の新たな企画にチャレンジ。

- 伝統ある「酒々井ふるさとまつり」との同日開催
 - 駅前広場にて「お酒の駅酒々井 吟醸酒祭」の開催
 - バス会社による、町内バス運行の実施。まだまだ改善の余地もありますが、これからも皆様の力をお借りしつつ、メンバー一同力を合わせてより良い祭りを作り上げて行きたいと思っております。祭りによって、ふるさと酒々井がより魅力的で人が集まる町になる事を願いながら、皆様今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(酒々井すいすい倶楽部 会長 縣)
- 只今酒々井すいすい倶楽部では、メンバーを募集しています。「酒々井を盛り上げたい」「祭りを作って行きたい」「仲間を増やしたい」「日本酒を語りたい」「住民活動に参加したい」…そんな思いのある方、ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？メンバー一同心から歓迎いたします！お気軽にご連絡ください。

酒々井すいすい倶楽部 電話 090-6703-4459



しすい子ども家庭応援団ジーバース

社会教育課(現生涯学習課)の家庭教育学級なすな学級から地域活動団体として、平成 23 年から保育ボランティアをスタートし平成 24 年 4 月に自立、活動は偶数月第4火曜日、月 1 回の定例会は 10時30分から11時30分まで行われている。

12 月 20 日(火)会場である役場西庁舎1階の「あいあいルーム」におじゃましました。当日はクリスマス会。紙芝居「こねこのしろちゃん」の準備中のジーバースはクリスマスツリー等を飾り子供たちを待ち受けています。時間になると20人ほどの親子連れが会場にやってきました。こども課の職員も応援。最初は飛び出す紙芝居、絵だけでなく黒い子猫4匹と親猫、白い子猫一匹と親猫等棒についたぬいぐるみが紙芝居のまわりを動き回ります。これらもジーバースの方々の手作りです。子供達もお母さんの膝の上でのんびりと見ていました。



クリスマスプレゼントとして、ジーバースお手製のポチ袋や小箱、協力団体からのアクリルたわしや、個人からの編みぐるみなどが用意されていました。ボランティアの人による香袋作りも行われお母さん達もハーブの香りに癒されていました。この様に多くの方々、協力団体もジーバースの活動の後押しをしています。若い方々が子育てを忘れて何かに夢中になれる時間の提供を考えているジーバースの活動に興味のある方はご連絡ください。連絡先 090-4625-1986


10月2日、「酒々井 千葉氏まつり」が町中央台公園を会場として、町内外から約3500人の方々が訪れて開かれました。祭りは戦国時代、千葉市の居城、本佐倉城の城下町が誕生したのを祝って始まり、江戸時代には酒々井町と周辺の村々の最大行事として賑わい、明治時代まで続いていました。伝説のこの祭りを、2016年、百余年の時を経て、町民の絆と誇りをもう一度復活させるためによみがえりました。本佐倉城は、文明年間(1469~1486 年)に千葉氏の居城として、水陸交通の要衝である印旛沼に面した酒々井に築城されました。それから天正 18年(1590 年)豊臣秀吉に滅ぼされるまで、当主九代にわたり政治、軍事、経済、文化の中心として、百有余年栄えたものであります。

当時、本佐倉城鎮守八幡神社(佐倉市大佐倉)の祭礼、本佐倉城下町のお祭りとして、「神輿の神幸」「ばか乗り」「競馬」(きそいうま)が行われていました。余興として自由参加の「ばか乗り」という仮装大会が行われ、大勢の人々が町中を練り歩きました。また、子供が武者姿で馬を走らせ、大人が羽織姿で追う「野馬追い神事」が明治時代まで行われていました。江戸時代には、幕府の牧を管理する「野馬会所」が酒々井に置かれ、毎年多数の馬が取引されていたと伝えられています。

歴史を紐解いて、馬と酒々井は密接な関係にあったということを発掘して後世に伝えることが出来る、そして他の地から酒々井に移り住まれた人々の子供や孫たちのための思い出深いふるさとの創生、そして、町民特に子供たちに喜んで参加してもらえるような祭りにしていきたいというコンセプトで、この祭りの企画がスタートしました。



当日は、前日の雨もあがり絶好の祭り日和となり、多くの人々が訪れて「ばか乗り」「競馬」をメインに行われ、ばか乗りの参加者は段ボール甲冑、忍者、キャラクターのコスプレ、フラダンスなどの姿に扮して約200人が町中を練り歩きました。競馬では、子供たちが馬に騎乗し、馬を上手に操りながら会場に設けられたコースを駆け抜けて、来場者から大きな拍手が起きていました。甲冑体験、馬とのふれ合いコーナー、千葉大学馬術部による競馬の実演等もあり、子供たちの笑顔、盛大な拍手につつまれて祭りを終えることができました。酒々井町ならではの祭りであり、千葉氏がこの地に残してくれた祭りの絆は、現代の町民によって、新しい祭りとしてこれからも酒々井町の歴史と文化を伝える町のシンボルとして受け継がれていくことを願っています。



キラリッこの人!


「自分が好きなことをして“人や町の役に立ったり、喜んでもらえたり”」

酒々井町郷土研究会 重良 順二

10年前から郷土研に入会して、仕事をリタイア後本格的に活動を始めました。もともと歴史に興味があり、いろいろな方向にアンテナを向けて、いろいろな人々に会って、自分のできる範囲で学んでいきたいと思っていました。

幸いにも、酒々井町には神社仏閣石仏史跡等がたくさんあり、先日も、野道を自転車で散策している途中に、畑の中で土器のかけらを発見してそのいわれを調べて、子供たちに説明して、

自分の知り得た知識を知らない人に伝えて、喜び、やりがい感、充実感を感じています。こんなうれしいことはありません。健康にもボケの防止にもなりますね。体にもいいですし、お互いに声を掛け合って、家にもってないで外に出て、自ら学んで、人や町に貢献し、みんなが Happy になって、一度しかない人生を楽しみましょう。



みんなの居場所 KOKO <町みんなが自由に集う場所を目指して2月にオープン>



子どもも、パパもママも、学生も、シニアの方も多世代のみんなが楽しく交流できる、町の拠点のひとつを目指します！
楽しいアイデアがふくらんでいます♪

いろいろな講座が
楽しめる場、学ぶ場

のんびりと一人で
読書をする場

ゆっくりとお茶を飲み
ながらおしゃべりする場

楽しい作品を作り
ながら、それを売る場

ちょっとした
ミーティングの場

パンやケーキやお弁当
を買ってきて食べる場

家庭菜園でとれすぎた
おいしい野菜を売る場

子どもたちが大学生に
勉強を教えてもらう場

子育ての悩みを
相談する場

もっともっと町のみなさんが、“ここにきてよかった”“元気になった”“幸せな気分になった”と思えることを作り出していきたいと思っています。

みなさんのアイデアもどんどん取り入れていきます。

ボランティアの方も募集しています。

ぜひお気軽にお立ち寄りくださいね。お待ちしております♪

場所: 酒々井駅西口 徒歩3分 おいしいケーキ屋さんのパティスリーエンドウさんのお隣 大きなガラス窓の建物です。

連絡先: 全国生涯学習まちづくり協会 (鮫島・岩田) MAIL: info@machi-ken.jp TEL: 090-9812-8988(御用の方はこちらまでどうぞ)



KOKO
は
こ
こ

えきフェス

昨年からスタートした『えきフェス』。ストリートパフォーマンス・音楽演奏・手作りショップ・ウエルカムドリンクとイベントを通して地域の交流に取り組んできました。そして、今年はさらにバージョンUPです。

5月20日(土)10:00～ JR 酒々井駅西口広場

千葉大学 ジャグリング・手作りショップ ・ウエルカムドリンク



どんな手作り品が並ぶかは

お楽しみ！！

※出店者募集中

個人・グループどちらもOK

出店の詳細は、事務局へお尋

ね下さい。

復活！

しがらき茶屋の煎茶

ぼた餅 販売

※しがらき茶屋とは、江戸時代

酒々井に実際にありました。

酒々井すいすい倶楽部の
「お酒の駅酒々井」も出店予定です。

詳しくは、後日チラシでお知らせします。

編集後記

酒々井町に賑わいができているのを感じます。それぞれの出来ることを知恵と工夫で、豊かに伸びやかに…。

歴史と文化と人のつながりはこの酒々井が一番！と言えるまちづくりに向かって、私達は力を出し合い、みんなが手をつなぎあい、素晴らしい一年になるように頑張ります。活動に興味のある方、一緒に輝いてみませんか？